

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|------------|-----|--------|-----------------|
| ○事業所名 | りのきっず | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年11月6日 | | | ~ 令和7年11月22日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 34名 | (回答者数) | 30名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年11月10日 | | | ~ 令和7年11月22日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 9名 | (回答者数) | 9名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年12月6日 | | | |

○分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | ・ | 1か月ごとに現在行っている活動を見直し、何を目標に行っているかの再確認、活動の再検討ができている | 目標に対して、多様な方法でアプローチができるように、職員のレベルアップができる学習会や、意見交換の場を増やしていく。 |
| 2 | 個別の目標設定をファイルにし、職員が見る事ができるようにしていることで、子どもに対しての目標の情報共有ができている。 | 目標を箇条書きにしわかりやすく書いている。余白を作り現在の状況を書けるようにしている。 | 決まった職員が記載することが多いので、意見を聞く機会を増やし記載していく。 |
| 3 | 活動プログラムを年間で決める事により、円滑に進める事ができている。 | 長期休暇の時などは、その時にしかできない事を取り入れたり、季節に応じた制作を行う事で、季節の学習にもつなげている。 | プログラム内容をもっと充実させるために、様々な事業所や、学校等からもヒントを得ながら行っていく。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われるること ※事業所の課題や改善が必要だと思われるること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 地域とのつながりを持つことができていない | 地域の方々と関わる機会を作る事ができていない。外出になると職員が1対1必要になり、日程を組むことも難しい。 | 来ていただく事や、室内での交流等がないのか探して見る等の工夫を考えてみる。 |
| 2 | 就業前、卒業後の事業所とのつながりがほとんどない。 | 相談員さんとの繋がりはあるが、そこで完結してしまっていて、それ以上の関りが持てていない。 | 相談員さんを通して繋がっていくきっかけを積極的に作ったり、卒業後の進路先へ情報共有を行っていきたい。また、外部研修等で、他事業所との交流を深めていきたい。 |
| 3 | 家族支援の機会を提供することができていない。 | 保護者の意見をまだまとめる事ができておらず、実施する事が出来ていない。 | 外部講師に来てもらうなども検討しながら、保護の方が興味のある内容の選択等を検討していきたい。 |